

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 おしまはんとうおうだん 渡島半島横断道路（一般国道230号） 国縫道路	事業区分	一般国道 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道山越郡長万部町字国縫 至：北海道瀬棚郡今金町字花石	延長	14.9km
事業概要 一般国道230号は、札幌市から長万部町等を経由してせたな町に到る幹線道路であり、長万部町国縫からせたな町にかけては地域高規格道路「渡島半島横断道路」に位置づけられている。このうち国縫道路は、高規格幹線道路と一体となって地域の連携強化を図るとともに、隘路区間の解消を図る事業である。		
H9年度事業化 H一年度都市計画決定 H10年度用地着手 H11年度工事着手		
全体事業費 約48億円 事業進捗率 46% 供用済延長 0.4km		
計画交通量 3,200台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.8	総費用 (残事業)/ (事業全体) 26/49億円 (事業費：26/50億円) (維持管理費：0/0億円)
		総便益 (残事業)/ (事業全体) 46/57億円 (走行時間短縮便益：30/40億円) (走行費用減少便益：15/16億円) (交通事故減少便益：2/2億円)
基準年 平成18年		
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.3（交通量 +10%） B/C=1.1（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=1.1（事業費 +10%） B/C=1.3（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=1.0（事業期間+20%） B/C=1.2（事業期間-20%）		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い区間を解消する） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる）		
他8項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 効率的な地域間ネットワーク形成の一環として路線整備を行うことが期待されており、今金町など沿線3町の首長等で構成される期成会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成12年度に隣接する渡島半島横断道路花石道路(L=5.1km)が供用開始。 平成13年度道央自動車道長万部IC～国縫IC間(L=11.1km)供用開始。 平成18年度道央自動車道国縫IC～八雲IC間(L=21.7km)供用開始。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成11年度より工事着手して、用地進捗率93%、事業進捗率46%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の事業完了を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 再生材の活用等によりコストの縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。